

愛媛県NPO法人活動助成事業申込書

基金登録番号	*基金の団体登録番号を記入してください。 120		
ふりがな 団体名	*登記上の正式名称(特定非営利活動法人/NPO法人の別等)を記入してください。 とくていひえりかつどうほうじん やわたはまげんきぷろじえくと 特定非営利活動法人 八幡浜元気プロジェクト		
ふりがな 代表者 職氏名	だいひょうりじ 代表理事	はまだ のりふみ 濱田 規史	設立年月日 (登記年月日) 平成26年6月19日
事務所 所在地	(〒796-0001) 住所: 愛媛県八幡浜市向灘3058 TEL: 090-7577-2581 FAX: - -		
担当者の 連絡先	*通常、連絡がとれる携帯番号やメールアドレスを記載してください。 (〒 -) ※住所は事務所所在地と異なる場合にご記入ください。 住所: TEL: 090-7577-2581 FAX: - - 担当者名: 濱田 規史 Eメールアドレス: info@re-ygp.com		
職員の状況	常勤職員	0人	団体の正会員数 10人
	その他職員	0人	
団体の活動 内容	<p>(主たる活動分野) *NPO法に規定する20分野の中から選択してください。 まちづくりの推進を図る活動</p> <p>(これまでの活動内容の実績・成果) ※詳細は、添付「活動報告書」を参照。 1. 八幡浜クリーンプロジェクト (交流をメインにした住民参加型清掃の開催) 2. 八幡浜ドネーションプロジェクト (100円1口の寄付を集めるドネパ開催等) 3. 八幡浜スマイルプロジェクト (情報誌「八幡浜笑人」の発行等) 4. 八幡浜オーナープロジェクト (名前入りの桜の植樹等) 5. 八幡浜アートプロジェクト (回収済かまぼこ板で制作したかまぼこカーテン) 6. 八幡浜アグリプロジェクト (地場産業である農業(柑橘)の活性化) 7. 青石の石垣・みかんの丘プロジェクト (住民による青石を利用した石垣制作等) 8. 中間支援事業 (みなと交流館指定管理業務: 構成団体として中間支援業務を担当等)</p> <p>(先駆的な取り組みを行ってれば、具体的にご記入ください。) 私たちの活動の始まりは清掃活動であり、その草の根の活動からの気づきや出会いによって「プロジェクト化」(組織化)を進めてきました。このような経験から、当法人の目的を達成するためには、私たちが事業・活動を行うだけでなく、①様々な主体に地域活動へ参加してもらうこと、②新たな地域活動を起こしてもらうこと、③地域活動を発展的に持続してもらうことが必要だと考えており、様々な事業・活動において、プロジェクトを実施する側面と支援する側面を持ち合せながら取り組んでいます。</p>		
会報誌の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無	ホームページの有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無

ホームページ有の場合、 そのアドレス	http://www.re-ygp.com	
直近の収支決算	経常収入額 (a) 経常支出額 (b) 収支差額 (a-b) 次年度繰越正味財産額	1,425,126円 1,187,619円 237,507円 237,507円

- ※ 団体が作成している広報誌・会報誌等を12部添付してください。
(作成していない場合は添付不要)
- ※ 適宜、行の幅を広げてください。
- ※ 次年度繰越正味財産額は、活動計算書の次年度繰越正味財産額を記入してください。
(必ずしも、収支差額とイコールになる必要はありません。)

(別紙2) ※貴法人の今年度における事業計画等(全事業)をご記入ください。

事業計画書

28年4月1日から29年3月31日まで

1 事業の趣旨・目的

(1) 中間支援事業の推進力の強化

私たちの目的を達成するためには、「地域活動の活発化」が必要不可欠であり、引き続き、中間支援事業を柱に据えて取り組んでいきます。

本年度は、みなと交流館等指定管理業務の第2期スタートの年であり、YGP内の中間支援事業の体制を強化し、同館中間支援業務に力強いリソースを提供していきます。

また、交流館職員との連携を強化するため、交流館内中間支援ミーティングを新たに設置するとともに、成果目標の共有をしながら、進捗管理及びフォローアップを行っていきます。

なお、中間支援事業は、私たちが大切にしている「住民参加」促進の面で密接に関わっていることから、他事業や行政等と連携しながら、その効果の最大化を目指していきます。

(2) 88プロジェクトを軌道に乗せ、柱にする

88プロジェクトとして、「BOCOタワー世界選手権」の開催をはじめ、将来に亘ってYGPの柱となる事業に育てていきます。また、WIN-WINの関係に立つことを前提に、他団体と連携・協力関係を築き、地域内外での広がりを出していきます。

なお、スマイルプロジェクトについては、プロジェクトを一旦休止し、YGPの情報発信の1コンテンツとしてWEB等で取り上げていきます。

(3) 住民参加の促進と情報発信力の強化

オチャップを中心に、住民を巻き込み、地域に目を向けてもらう活動を継続的に行うことで、YGPを含め地域活動への参加きっかけを多く提供していきます。そのため、YGP理事者が核となって、人や組織の間に入り、つながりを育てていきます。

また、「参加する」だけではなく、住民自らが地域情報の「発信者」となれるよう、機会づくりも行っていきます。

さらに、内外へのつながりを戦略的に利用し、YGP事業等の発信に努めることをもって、メンバー(寄付者含む)の増強を図っていきます。

(4) 会員の「強み」を引き出し、活用した法人経営の構築

YGP成長のエンジンは、会員たる「人」であることを前提に、次の10年を見据え、担い手になる人財の育成を図っていきます。そのため、「強み」にスポットを当てたメンバー管理体制を整備し、全体会や活動を通じ、理事者が積極的に関与していきます。

また、組織内（特に理事者間）の情報共有の強化と意思決定のスピードアップを図るため、各種ツール（グループウェア等）を積極的に活用していきます。

さらに、諸所の課題を解決していくため、理事会（理事）で主導しながら、管理部門体制の強化を段階的に図っていきます。

2 事業の実施に関する事項

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	対象者の範囲・人数	支出額(千円)
つながり事業	【まちづくり意見交換会の開催】 八幡浜を象徴する場所・歴史的建物等で開催することで、その建物の歴史・地域との関わり等を知りながら八幡浜に関する興味を深めていきます。	7月 11月 3月	八幡浜 市内	延べ 48人	八幡浜市 民他 延べ 120人	30
	【YGPなかよし運動会】 他団体との交流の機会として実施します。	12月	八幡浜み なっと	15人	八幡浜市 民及び県 内地域活 動団体従 事者 35人	0 (参加者 負担にて 対応)

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	対象者の範囲・人数	支出額(千円)
まち育て事業	【88プロジェクト】 (1)BOCOタワーの実施 BOCOタワーの普及と「かまぼこ板」のリサイクル・リユースの促進のため、各種イベントを開催・出展する。	5月 8月 10月 随時	八幡浜市 内及び依頼があった地域	50人	八幡浜市民を中心にした一般住民 300人	50
	(2)BOCOの積み木セット商品化 集める積み木「BOCO」を商品化し、日土東保育所他へ提供する。	3月	日土東保育所他	4人	日土東地区を中心にした一般住民 30人	20
	【中間支援】 (1)中間支援講座等の実施 講師派遣等を通じたみなと交流館中間支援業務の運営サポートを行います。	通年	八幡浜市内他	4人	八幡浜市民を中心にした一般住民 200人	300
	(2)地域活動団体ポータルサイト「TUMUGU」の更新	随時	八幡浜市内他	5人	八幡浜市民を中心にした一般住民 20,000人	0
(3)地域資源を活用した交流・情報発信 地域資源の掘り起こしWS 市民記者等養成による地域情報発信等	通年	八幡浜市内	10人	八幡浜市民を中心にした一般住民 50,000人	830	

(別紙3) ※貴法人の今年度における収支予算(全額)をご記入ください。

収 支 予 算 書

1 収入の部

区 分	予 算 額 (円)	摘 要
1. 受取会費	72,000	正会員受取会費
2. 受取寄付金	100,000	
3. 事業収益	100,000	つながり事業収入・まち育て事業収入
4. その他の収益	50,000	活動支援金収入・雑収入
5. 助成金	1,060,000	愛媛県NPO法人活動助成事業【団体支援助成】 500,000円含む
計	1,382,000	

2 支出の部

区 分	予 算 額 (円)	摘 要
1. 事業費	1,229,752	
つながり事業	30,000	
まち育て事業	1,199,752	
○講師謝金	379,752	内100,000円本事業対応分
○印刷製本費	120,000	内30,000円本事業対応分
○WEB制作費	640,000	内350,000円本事業対応分
支払手数料	1,000	
通信運搬費	1,000	
会議費	3,000	
支払保険料	5,000	
○消耗品費	40,000	内20,000円本事業対応分
雑費	10,000	
2. 管理費	27,013	
3. 次期繰越金	125,235	
計	1,382,000	

※上記のうち、今回申し込む補助対象経費について、区分欄に○印を記載すること。

*原則として、今回○印を付けたものが交付申請の際、対象経費となり、実績報告時には、全ての領収書等が必要になります。

(別紙4)

平成28年度愛媛県NPO法人活動助成事業

【 **テーマ型** ・ 一般型 協働事業助成 】 *〇を付けてください

企画提案書

平成28年6月6日

次のとおり、標記事業について、企画提案書を提出します。

申請者 (事業実施 主体名)	法人名	*登記上の正式名称を記載してください 特定非営利活動法人 八幡浜元気プロジェクト
提示テーマ		*テーマ型協働事業助成のみ記載してください 地域資源を活用した交流事業について
連携・ 協働者		・主たる協働事業者を3者まで記載してください。 ・「種別」は、ボランティア団体、企業、地縁団体(町内会・自治会等)、公益法人、社会福祉法人、協同組合、行政などの区分を記載してください。
	(1) [確定]	団体名 八幡浜みなとと みなと交流館 (種別) 道の駅 住 所 〒796-0087 八幡浜市沖新田1581番地23 代表者 役職 館長 氏名 木村 謙児 連絡先 Tel. 0894-21-3710 E-mail : info@minatto.net
	(2) [確定]	団体名 愛媛大学 法文学部 人文社会学科 (種別) 大学 住 所 〒790-8577 松山市文京町3番 代表者 役職 准教授 氏名 米田 誠司 連絡先 Tel. E-mail :
(3)	団体名 住 所 〒 (種別) 代表者 役職 氏名 連絡先 Tel. E-mail :	
総事業費及び 希望する県補助金額	総 事 業 費 (うち希望補助金額)	500,000円 500,000円)
事業概要		申請事業の概要を100~200字程度にまとめて記載してください。 1. 地域資源掘り起しワークショップの開催(掘り起こす資源は、観光資源に限定せず、自由に出し合い分類する) 2. 着地型観光商品の開発ワークショップの開催(出された地域資源を元に商品化を図るワークショップを開催) 3. 地域資源見える化データベースWEBサイトの制作(上記1で出された地域資源情報や随時住民等により出された情報をWEB上に登録していく。WEBサイト閲覧者は、アイデア創出(マッチング)のきっかけになる。)
事業実施期間		平成28年8月1日から平成29年3月15日まで

(事業計画等)

<p>1 事業の 目的・目標</p>	<p>(1) 事業の背景となる地域の課題を記載してください。 ① 八幡浜市内にある地域資源の掘り起し・見える化・DB化・マッチングができていない。 ② 八幡浜市内での滞在時間を向上させる観光プログラムが少ない。</p> <p>(2) 課題を解決するための提案事業との関連について記載してください。 ① 地域資源の掘り起しWS等により、掘り起し・見える化を図る。また、WEBサイトにおいて、DB化・マッチングを図る。 ② 着地型観光商品の開発WS等により、地域資源を組み合わせた観光プログラムの開発を図る。</p> <p>(3) 事業の目標(期待される成果)を記載してください。 ① 八幡浜市内の地域資源が見える化することで、観光プログラム開発等に活かすことができる。また、各主体が「資源情報」を登録することで、マッチングが図られ、地域内外で協働事業が生まれるようになる。 ② 住民主体の着地型観光商品が開発され、八幡浜みなとから市内中心部への送客、八幡浜における滞在時間の延長が図られる。</p> <p>(4) 目標達成のために工夫する点を記載してください。 ① 地域資源の掘り起しから着地型観光商品の開発に至るまで、住民を巻き込み実施することで、事業終了後も継続できる仕組みをつくること。 ② WEBサイトの機能を使って、地域資源としての人・商品・場所・アイデア等をマッチング(提案)すること。</p>
<p>2 役割分担 (事業実施体制)</p>	<p>協働事業者との役割分担(具体的な連携内容)について記載してください。</p> <p>(1) 八幡浜みなと みなと交流館 八幡浜市からの指定管理業務の「観光業務」及び「中間支援業務」において協働する。地域資源の掘り起しWS開催のフォロー、着地型観光商品WSの開催及び開発を主に担当する。</p> <p>(2) 愛媛大学 法文学部 人文社会学科 [確定] 着地型観光商品開発WSの進行等を担当する。 また、学生等の参画によって事業運営をサポートする。</p> <p>[事業実施主体] 全体統括・地域資源の掘り起しWSの開催及びWEBサイトの制作(開発は委託)を担当する。</p>
<p>3 事業スケジュール</p>	<p>事業の進め方、段取り等が分かるように、いつ、どのような活動を行うのか、スケジュールを具体的に記載してください。(※別紙添付でも結構です。)</p> <p>28年8月 事業開始・詳細計画の策定 28年9月 地域資源掘り起しWSの開催① 地域資源掘り起しWSの開催② 28年11月 着地型観光商品開発WSの開催①② 28年12月 着地型観光商品WSの開催③④ 29年1月 着地型観光商品WSの開催⑤⑥ WEBサイトの制作 29年3月 着地型観光商品(モニター版)の公開(発表し募集する) WEBサイト公開</p>
<p>4 事業終了後の展開</p>	<p>助成事業が終了した後、どのように活動(協働)を継続していくのかを記載してください。</p> <p>(1) 本事業で得たノウハウを使い、みなと交流館と連携し、地域資源の掘り起し、見える化、DB化、マッチング、着地型観光商品の開発をさらに行っていく。</p> <p>(2) 観光業務を行っているみなと交流館の窓口業務と連携し、着地型商品の紹介や市内中心部への送客等をもって市内における滞在時間の延長を図る。</p>

事業収支計画書

1 収入の部

区 分	予 算 額 (円)	摘 要
助成金	500,000	愛媛県NPO法人活動助成事業費補助金(本事業)
自己資金	0	
収 入 計	500,000	

2 支出の部

区 分	予 算 額 (円)	摘 要
報償費	100,000	
講師謝金	100,000	WS講師謝金
需用費	50,000	
印刷製本費	30,000	周知チラシ作成
消耗品費	20,000	WSに係る画用紙等
その他	350,000	
委託料	350,000	WEBサイト制作費
支 出 計	500,000	

※ 申請しようとする事業に係る収支計画(見込)を記載してください。
* 法人全体の事業計画ではないのでご注意ください。